

心臓超音波検査異常と臨床的特徴に関する研究

1. 研究の対象

2001年から研究期間終了までに当院にて心臓超音波検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年、手術前の検査を含め心臓超音波検査を施行する機会が増加しています。その中で、先天性心疾患、心筋症、弁膜症等、様々な異常所見が見つかりますが、異常所見の臨床的意義やその後の臨床経過は必ずしも明らかではありません。心臓超音波検査における異常所見と他の検査所見との対比、心臓イベントとの関連を調査し、異常所見の詳細な評価やフォローアップの必要性の有無を明らかにすることを目的としています。研究期間は、倫理委員会承認日から2026年12月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：心臓超音波検査所見、CT等の画像所見、血液検査結果、病歴、治療歴、臨床経過、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 電話：088-880-2352

担当者の所属：高知大学医学部 老年病・循環器内科学講座 氏名：馬場裕一

研究責任者：

高知大学医学部 老年病・循環器内科学講座 馬場裕一